

施策番号 1-2-1	施策名	安心して生み育てることができる子育て支援	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり		
			政策名	子育てしやすいまちづくり		
	主管課	子育て支援課	課長名	佐々木快治	内線	580
	施策関係課	住民生活課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果
妊娠・出産、子育てに関する悩み・不安の解消と地域社会の理解を深めることにより、まち全体による子育て支援体制の充実を図ります。		町民	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠・出産及び子育てに対する不安や悩みを解消する ・子育てに対する地域社会の理解を深める 				子育ての支援体制が充実し、安心して生み育てることができる
成果指標	説明	単位	年度(策定時)	28年度	29年度	30年度	
① 出生数(H25～H30平均)	母子健康手帳交付数	人/年	172.0	135.6	124.8	170.0	
② 育児が楽しいと感じる親の割合	乳幼児健診アンケート	%	89.8	85.9	87.6	90.0	
③ 安心して子育てができる環境であると思う町民の割合	住民意識調査	%	63.7	65.7	69.7	65.0	
成果指標設定の考え方	①の成果指標は、「公立芽室病院で出産する町民の割合」(H20・21)、「合計特殊出生率」(H22-24)から、母子健康手帳交付数(H25-)に変更するとともに、平成28年度のシート作成時からは、当該年度を含む5か年平均の数に見直した。策定時に近い170人/年を目指す。②及び③はアンケート結果、調査結果を引き続き成果指標に設定。						

2. 施策の事業費

	28年度決算	29年度決算
施策事業費(千円)	453,208	437,464
人工数(業務量)	11,1206	11,4620

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①平成29年度の成果評価(前年度比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	①については全国的な傾向でもあるが、②、③については1.7～4.0ポイントの増となっており、「子育て世代包括支援センター」の開設等が評価につながったものと考えられる。
②平成30年度の目標値達成見込み	<input type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標は達成できる <input checked="" type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	①については目標達成のハードルは高いと考えるが、不妊治療費助成事業や妊婦相談・支援事業等の充実を図りながら目標達成を目指す。 ②、③については、子育て支援センターでのきめ細かい相談対応や、昨年度開設した「子育て世代包括支援センター」の充実、産後ケア事業、病児保育施設利用料助成等のニーズに合った新規事業を次々と打ち出していくことで目標達成を目指す。
(2) 施策の成果評価に対する平成29年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	子育て支援センター運営事業 妊婦相談・支援事業 不妊治療費助成事業 子育て世代包括支援センター運営事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	子育て支援施策については、役場内横断プロジェクトである「子育ての木委員会」の開催により、情報共有や課題解決を図ることができ、各事務事業の充実につながっている。特に昨年度は「子どもの貧困対策部会」での協議を経て、子どもの居場所づくり推進事業(風の子めむろ)を開始することができ、貧困を含む様々な課題を抱える子どもの早期発見・早期対応への一歩を踏み出すことができた。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

	A	B	C	D	E
進捗結果			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p><施策を取り巻く状況></p> <p>①子どもの貧困対策が全国的な問題として取り上げられ、地域ごとに個人や団体、行政が対応している。</p> <p>②乳幼児医療費の無償化競争が自治体間で繰り広げられてきている。</p> <p><今後の予測></p> <p>①国や都道府県を始めとした行政が、更に支援策を充実させていく必要性が増してくると思われる。</p> <p>②乳幼児医療費助成の対象者拡大など、今後も無償化競争が拡大すると思われる。</p>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	乳幼児等医療費の助成対象について、拡大を求める意見がある。

5. 施策の課題認識(現状の課題、新たにに取り組むべき課題)

<p>課題 ニーズを踏まえた産後ケア事業の充実</p> <p>昨年4月に開設した「子育て世代包括支援センター」においてアウトリーチ型の産後ケア事業を開始したが、デイサービス型や宿泊型等、様々なニーズも存在していることから、本町の人的資源や環境を確認しながら、実現可能な事業の選択・準備を進めていく必要がある。</p>
--

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	従来事業の継続と共に、子どもの居場所づくりなどの新たな取り組みも見られる。その新規事業に一定の利用者があることは良い傾向である。		A	B	C	D	E
進捗結果					○		
今後の取組に対する意見	相談事業などマンパワーが重要になるため、関係課や関係団体と連携のうえ、推進していただきたい。	<p>A: 実現した</p> <p>B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した</p> <p>C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した</p> <p>D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない</p> <p>E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した</p>					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	風の子めむろの取り組みなど、策定時と比較して前進していると評価する。		A	B	C	D	E
進捗結果					○		
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ● 転入者へのフォロー対策として、まちの駅のようなところに、子育て支援ガイドを設置するのも良いのではないか。 ● 乳幼児医療等医療費助成について、「子どもの医療費助成」など町民に理解しやすい表現でも良いのではないか。 	<p>A: 実現した</p> <p>B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した</p> <p>C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した</p> <p>D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない</p> <p>E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した</p>					